

黙っていたら誰もが富良野の風景と思われるでしょう。しかしこれは群馬県嬭恋村の風景です。なだらかな起伏に高原野菜の畑が広がる嬭恋村は、もともと北海道の風景と似た場所が多い土地です。その中でもこの絵の場所は、一瞬本当に富良野にでも来たかと錯覚を起こすほど、それらしい風景です。富良野とちがうのは、ビート(砂糖大根)のかわりにキャベツが栽培されていることです。こんな風景がまだまだありそうです。自転車で探しに行こうと思っています。



これが完成した絵です



1、雲(積雲)は淡く、しかし立体感を持たせます



4、屋根の下は影をつけて、窓は黒い点で



2、丘の上の樹木は、一本一筆で描きます



5、近くのキャベツ、キャベツを一個ずつ描くことはしません



3、屋根の影と窓の表現、手前の柵は効果的



6、遠くのキャベツ、エメラルドグリーンに緑の点描